

えております。

我が国の子もたちの学力は、国際的な調査結果からみて読解力低下や学習意欲や学習習慣の欠如等の課題が明らかになつておりますことから、子どもたちに基礎・基本をしつかりと身につけさせるとともに、学ぶ意欲や自ら考え主体的に判断するなどの「確かな学力」を育むことが重要と考えます。T・T(チーム・ティーチング)や個に合わせたきめ細かな指導の充実を図り、幌延町教育研究所の研究成果、また、留萌教育局の学校訪問による指導助言などを生かし、「確かな学力」の育成に努めます。

次に、「豊かな心」の育成には、学校、家庭、地域社会が一体となつて、善悪の判断などの規範意識や倫理観と、公共心や他人を思いやる心などの豊かな人間性や社会性を子どもたちに育むため、

道徳教育の充実、奉仕・体験活動や読書活動の推進を支援します。また、問題行動や不登校など子ども心の問題にも対応できる体制作りをしていきたいと考えております。さらに、子どもたちの「健やかな体」を育むため、体育の一層の充実、部活動の支援に取り組むとともに、学校給食の円滑な実施や食育の推進に努めるとともに、障害のある児童生徒に対し一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進を図ります。

また、「信頼される学校づくり」を進めるため、学校評価と情報公開の推進や、保護者や地域住民から組織される学校評議員制度を有効に活用した学校づくりの支援や、教師に対する揺るぎない信頼を確立するため、各種研修を通して、教えるプロとしての教師の資質向上を図つてまいります。



昨今、子どもの生命が危険にさらされる事件事故が多発しています。学校と地域が一体となつた安全確保、安全教育、安全管理の徹底を図ります。

本町教育の大きな特色となつている情報教育については、各学校のどの教室からでも高速で常時接続できるインターネット環境が整備され、高度情報化社会に生きる子どもたちに必要な、基礎的情報活用能力の育成を

図つてまいります。また、幌延情報教育センターにおいては、地域に向けた一般向け講習会の開催や、小中一貫した情報教育の推進のため理論研究を重ね、副読本作成や研究成果の授業への反映を目指し、幌延町教育研究所のコンピュータ推進委員会との連携を取りながら進めてまいります。

総合的な学習については、自然体験やボランテニア活動など、各学校において創意工夫し、特色ある教育活動を展開しています。国際理解教育に関する学習の一環として、児童生徒が、直接ネイティブ・スピーカーから生きた言語を学ぶ機会を提供するため、留萌教育局へ外国語指導助手の派遣の依頼や近隣町村から講師を招くなど支援してまいります。

学校給食は、栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣の形成

や、教職員と児童生徒のコミュニケーションや人間関係の育成の場として、心身の健全な発達を図る上で大きな教育的意義を有しています。開設以来、ドライシステムを有効に運用し、安全で良質な給食の提供に努めています。が、年数の経過により施設の老朽化が見られ改修をしてまいりたいと考えています。児童生徒の多様な要望に応えるため、食事内容や給食環境の改善、またアレルギー対応食等、学校や学校給食会・運営委員会と連携し、衛生管理体制の充実に努めます。

学校施設や教職員住宅の維持補修管理については、限られた予算の中で、学校運営や生活に支障のないように配慮するとともに、破損の程度や緊急性を考慮しながら快適な教育環境を作り上げるため、計画的に取り組みます。今年度は、新耐震基